

## 八峰町「親子でアウトドア防災」実施レポート

日時：令和7年7月27日（日）11時00分～13時00分

会場：あきた白神体験センター

参加者：親子1組3名（母親、姉妹）

八峰町教育委員会生涯学習課が企画した「親子でアウトドア防災～いざという時のために備えよう～」に、当センター職員がメインスタッフとして参加してきました。最初は、当センターの副主幹（兼）学習事業チームリーダーの**柏木 睦**が、『新しい防災のすすめ』をテーマに話をし、途中でメスティン（アルミ飯ごう）での炊飯に向けた準備も並行して実施。講話の中では、非常口の標識や災害時の避難に関するクイズを実施したり、体験や経験の重要性を説明したりし、参加した親子はご飯の炊き上がりを楽しみにしながら話を聞いていました。この日の体験内容は次のとおりです。

- ①『新しい防災のすすめ』
- ②メスティンを用いた炊飯
- ③簡易テント設営
- ④段ボールベッド組み立て
- ⑤ポップコーン調理
- ⑥新聞紙でスリッパ作り



### 体験活動の様子

開始当初、子どもたちは緊張して控えめな様子でしたが、防災クイズやお米の浸水作業、固形燃料の着火作業を通して緊張もほぐれた様子で、笑顔も見られました。簡易テントや段ボールベッドの組み立てでは、母親と一緒に意欲的に取り組み、できあがったご飯を自分たちで組み立てたテントの中で、家族3人仲睦まじく食べている様子が印象的でした。

また、ポップコーン調理でも、子どもたちは種がはじける様子を興味深く観察し、できあがったものを美味しそうに食べていました。新聞紙でスリッパ作りでは、自分の足にフィットしたスリッパに大満足。全体が終了して帰る際には、職員とハイタッチをかわし、親子そろってとても楽しい時間を過ごせたと、うれしそうに会場を後にしました。



親子で考え、楽しんで学び、食事する。充実している様子がうかがえます。